

APPEAL

発行 者
JR 東海労関西地本
大阪台車検査車両所分会
2016年2月4日
NO. 81

会社は 社員に

「品質の高い台車をお客様に提供しよう」
と言うけれど！

職場環境は

「暑い」「寒い」「汚い」「雨漏れする」

このような状態で提供できますか？

会社は1月の業務委員会（昨年8月に要求）で大台両職場の改善要求に対して以下のような内容の回答を行いました。

**昨年8月の要求に業務委員会の開催はなんと1月
進まない防暑・暖房対策・雨漏れ対策・・・？**

台車組み立て・中修上の屋根に防暑塗装を実施すること。

【回答】塗装だけが対策でなく、台車検修設備更新の際、必要な冷暖房設備も含めて更新している。

希望する社員全員に特殊技能資格（フォーク・電気・ガス溶接・クレーン・砥石 取り扱い・有機溶剤等々）の教育資格を与えること。

【回答】資格取得について、必要数及び個人の能力、適性等を総合的に判断し指定している。

【会社のやりとり】

組合：台検庫では輪軸にブルーシートをかけて保管してる状況である。雨漏りがあるからだ。根本的な問題を解決するべき。

会社：やっても違う箇所から発生する。

組合：軸箱支持装置の改善はいつか。

会社：見てない。実態は知ってるが今、説明できるような知識がない。

他労組の皆さん！

これが会社が5ヶ月間も沈黙して出した回答をどう思いますか？

社員が安心して働ける環境を提供するのが会社経営陣の責務であります。日頃「お客様に品質の高い台車を提供しよう」というのであれば、今こそ社員の職場環境を整えるため社員の声を聞く姿勢が必要です。労働条件を改善していくのは皆さん一人一人の考えをしっかりとあきらめず会社にはたらきかけていくことです。

以下会社とのやりとりの抜粋です！

【関西業務委員会ニュース286号より】

V. 大阪台車検査車両所に関する改善要求について若干のやりとり

組合：台検の点呼で、修繕は6Fで行っているが台検は何故出来ないのか。

会社：今のところで問題ない。

組合：塗装が一番にいいという声がある。何故しないのか。

会社：全部塗装してもまだ寒いとかの声があるかも知れない。

組合：浜工はどんな冷暖房をしているのか。台車検修庫、冷暖房対策は永遠の課題だ！

会社：分からない。

組合：トイレまで冷暖房設備しなくてもいいという考えか。

会社：今のところ予定はない。

組合：実際、真夏の時に入ってみて確認しているのか。

会社：報告は聞いている。

組合：いつまでも直らない雨漏り！安心して下さい？！大切な輪軸をブルーシートで守っています！この事実、社長さんは知っていますか？！

組合：台検庫では輪軸にブルーシートをかけて保管している状況である。雨漏りがあるからだ。根本的な問題を解決するべき。

会社：やっても違う箇所から発生する。

組合：何年も前からの問題である。

会社：速度が遅いという意見は承る。

組合：社長や副社長が来た時に輪軸にブルーシートをかけている状況は見ているのか。そういうときだけ外しているのではないのか。

会社：そんなことはない。

組合：軸箱支持装置の改善はいつか。

会社：分からない。

組合：足が完全に入らないのか。どのような改善か。

会社：現場で確認している。ハードで対策取ったと聞いている。

組合：実際見たのか。

会社：見てない。実態は知っているが今、説明できるような知識がない。

組合：ここで説明出来ないのか。100歩譲っても写メ送らせて見ることも出来たはずだ。会社業務委員、説明できる根拠なし！だって実際見てません！これでは議論がかみ合いません！会社：説明できる能力がない。これでは議論がかみ合わない。調べて後日、回答するべき。

組合：私たちが現場に入って確認する。

会社：足りないことは申し上げる。

「分からない・見ていない・知識がない」このようなことがまかり通る会社でいいのでしょうか！